

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ふぁみさぽここ坂之上			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 8日 ～ R7年 2月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	R7年 1月 28日 ～ R7年 2月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供	・ ABAを基に支援を行う中で、事業所が楽しい、来たいと思える環境を作ることが出来ています。今後も専門性を持って、支援内容を充実していきます。 ・ 飽きがこない支援内容になるように、同じ活動が重ならないように活動内容を考えている。	・ ABAの研修を行うなど専門性を全職員が出来るようにしていく。 ・ 支援が、5領域に合わせた内容で、かつ、支援が楽しめる内容になるよう研修等行っていく。
2	保護者への説明	個別支援計画では、本人支援・家族支援・移行支援を計画しているが、保護者にわかりやすく説明できるように考えていきます。	・ 丁寧な説明を心掛けるとともに、分からない部分の聞き取りを行います。しっかりと理解、同意を頂いたうえで支援が行えるよう努めます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援	保護者会を開催しているが、周知・参加が少なかった。	・ 保護者が集まりたいと思える内容だったか？何を求めているか？をアンケートを取る等行い、ニーズに沿った内容を検討していく。 ・ 保護者会・親子イベントを開催しているが、今後はきょうだい児を視野に入れたイベントも考慮していきたい。
2	関係機関等との連携	児童クラブ等との関わりが少なく、一緒に行ってもらえる機関を見つけられるかが課題。	・ 保護者の意向を確認しながら、関係機関連携などで、顔見知りになった児童クラブに声掛けを行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふぁみさぼこ坂之上

公表日 令和7年2月28日

利用児童数

31

回収数

21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	5		1		運動活動がしやすいように、半分のスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	2	5	正しい配置が分からない。	配置基準は満足した配置で運営を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		4		事業所内は、段差がない配置になっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1		5	広いスペースでの工作や運動などをで、喜んでいる。	事業所半分は、物を置かず、走り回れるスペースを作っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	4		3		ABAを取り入れ、自己決定出来る声掛けを中心に取り組んでいます。特性に合わせては、視覚化や、机の配置などで対応しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	1	2	不登校ですが、支援を不登校に合わせて考えてもらえているため、楽しんで行くことが出来ています。	不登校に合わせた、支援内容を計画しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	2	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2		3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	11			毎日工夫された内容メニューになっている。 週ごとにプログラムが決まっている。	元々、曜日ごとのプログラムになっていましたが、現在は5領域に合わせて、運動や、アナログゲーム、ビジョントレーニングなどをランダムに行うことで、支援内容が重ならないように行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	4	5		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1	2			個別支援計画書の中で、分けて記載・説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	2		2	支援の流れなど丁寧に教えてもらえました。	契約時に説明の中で行っていますが、今後は、面談時にも定期的に説明を行って行きます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	2	4		現在は、親子イベントや、年に1回の保護者会等で、情報共有の機会を作っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	5	1	2	HUGで受けている。	生活・健康の記録で、体調管理の記載を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	3		面談時に、色々アドバイスをくれたり、自信を持たせてくれる。	相談や、悩み事がある場合には、事業所内で面談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	2	4	困り感を共有してくれたり、助言してくれるので助かっている	送迎時や、面談時に相談を受けることが多いです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	5	5	参加したことが無い。	親子イベントや保護者会を行って、交流の場を設けているが、兄弟児への交流は今後、考えていきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		6	対応してくれているため	契約時、面談時にお伝えするようにしている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	3		5		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17		1	3		ホームページにて掲載しております。周知出来るよう、お便りの中でお知らせいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19		1	1		個人情報の書かれたものに関しては、施錠出来る棚に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3	1	6	子供が訓練に参加していた。	面談時にマニュアルの説明を行っています。訓練は定期的に行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3		6	訓練に参加していた。	年2回以上の避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		5		周知出来るよう、お便りや計画を閲覧できるファイル作成を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		7	友達と手が当たったなど、細かい報告をしてくれる	怪我や、事故が起きたときには、すぐに保護者様へ連絡する体制を取っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				嫌がることもなく、お迎えを喜んでい	ABAを取り入れてから、他者を思いやる声掛けがご利用者から聞かれています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	5		1	頭を使ったゲームをしたり、身体を使った取組等工夫してくれている。 毎日、楽しく利用させて頂いています。	職員間で、ご利用者が楽しく活動に参加出来るよう、定期的な話し合いの場を設けています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふぁみさぼこ坂之上		公表日			令和7年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		2部屋で療育を行っている。1部屋をものを置かない空間を作ることで、運動など大きく身体を動かすことが出来るスペースを作っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内会議や、月に1回の1 ON1面談を行うことで職員の声を定期的に聴ける機会を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修・新人研修・1年目研修・3年目研修以外にも、部で行う研修や、外部研修を受けられる環境が整っている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者が面談時が学校の時間が多いため、個別で聞き取りを行った後、作成を行っている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		終礼で、意見交換を行い、早急に解決すべき事案に対しては、すぐにケース会議を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					



援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼・昼礼の中で行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動時間や、宿題を行う際には、どのタイミングで行うかを、自分で決められるように声掛けを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員と、児童発達支援管理責任者が面談対応できるように努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時には学校面談等行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現在小学校3年生までを対象にしているため、移行がない状況です。他の放課後等デイサービスへ移行される際には、情報共有を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		保護者からのご要望がないため。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		協議会議事録は目を通している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や、面談時に相談・助言を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会は未実施だが、保護者同士が交流できる活動は提供している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個人情報や防犯を留意しながら、必要に応じて地域との繋がりが持てる機会の設定を行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会開催や、研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化の指針に基づいて作成している。	